

# 命と教育を考える映画上映会

## 映画を見て一緒に考えませんか？

## 合計5作品のドキュメンタリー映画です。

東日本大震災から1年決して忘れてはいけないあの日。被災地の映画を見て皆でもう一度考えましょう。いじめや体罰などで現在教育現場が問題視されています。しかし、簡単にはなくなるものではないのです。本当に今の教育の形でいいのでしょうか？学ぶとは？教えるとは？

どうということなのかもう一度考えてみませんか？



日にち	会場	上映予定	上映時間	上映開始時間
2月23日(土)	エポックなかはら	放射線を浴びたX年後	1時間23分	18時30分から
2月24日(日)	てくのかわさき	立ち入り禁止区域	1時間39分	18時30分から
3月3日(日)	てくのかわさき	月あかりの下で	1時間55分	18時30分から
3月9日(土)	エポックなかはら	かすかな光へ	1時間24分	18時30分から
3月10日(日)	エポックなかはら	friends after 3.11 脱原発アイドル 兵庫県高校生 藤波心 来場	2時間15分	18時30分から
3月16日(土)	エポックなかはら	立ち入り禁止区域 佐藤監督 来場	1時間39分	18時30分から
3月17日(日)	てくのかわさき	放射線を浴びたX年後	1時間23分	18時30分から
3月24日(日)	てくのかわさき	月あかりの下で	1時間55分	18時30分から
3月31日(日)	てくのかわさき①	かすかな光へ	1時間24分	13時30分から 順番に上映します
	てくのかわさき②	friends after 3.11	2時間15分	
	てくのかわさき③	放射線を浴びたX年後	1時間23分	

### 資料代は全上映会共通となります。1作品1枚です。

てくのかわさき は2階ホール エポックなかはら は7階大会議室 で行います。

大人 999円 高校生以下 500円 小学生以下は無料

### 会場アクセス

#### てくのかわさき

JR 南武線武蔵溝ノ口駅  
東急田園都市線・大井町線「溝の口駅」  
下車 5分 駅前のマルイ裏

#### エポックなかはら

JR 南武線武蔵中原駅  
下車 1分  
改札出てすぐ右

### 問い合わせ 命と教育を考える映画上映会実行委員会

実行委員長 梅井 忠 TEL : 080-3151-1023

MAIL : ooimachiline0982@yahoo.co.jp

# 映画紹介

## 月あかりの下で

かつて学校で夢をつぶされた彼らが、再びその夢を語ることができた場所・・・それは〈学校〉だった—  
夜間定時制高校—

そこはいま働く若者たちの学びの場、そして小・中学校で不登校、高校を中退した若者たちの再出発の場となっています。映画の舞台は、1学年1クラス、全校生徒120人足らずの埼玉県立浦和商業高校定時制のあるクラス。派手なメイクで身を固め教師に暴言を吐く生徒、家庭内暴力が原因で登校できなくなった生徒、明るい笑顔が魅力のある生徒は自傷行為を繰り返し・・・彼らのやわらかな心は、家庭や社会の歪みに傷ついていました。そんな若者たちが、大家族のような〈学校＝居場所〉の中で悩み、ぶつかり、支えあい過ごした日々と、その先に見えた希望。2002年の入学から2006年の卒業までの4年間、そしてその後へと、生徒一人ひとりに寄り添った貴重な映像が、テレビ放映を経て、ここにドキュメンタリー映画として誕生しました。人との絆が、人を育てる。いまを悩み、懸命に生きるすべての人へ、この作品を捧げます。

## 立入禁止区域・双葉

被災地の現実と、被災者の真実を伝える衝撃のドキュメント映像！  
被災の状況、避難した人々の生活の様子は、テレビや新聞の報道で表面的には紹介されているが、その根幹に迫ったものは少なく、とくに、原発事故という我が国初の深刻な事態に直面させられた人々の心に寄り添ったものは極めて少ない。とりわけ「立入禁止区域」に入り込んで撮影された映像が一般に公開されるのは今回が初めてであろう。マスメディアの“取材自粛”という状況も生まれる中、様々な「壁」を突破して、原発に隣接する地域の有り様が、そこに関わる人々の生々しい言葉が、映像で伝えられることの意義は大きいであろう。

**3/16 は佐藤監督が来場します。**

## かすかな光へ

教育研究者・大田堯の挑戦

東日本大震災、福島原発事故があり自然と限りある命が危機に脅かされています。その中で自然の大切さ、自然から何を学ぶか？今後私たちはどうしたらいいのか？青年の時に戦争に行った経験から昔の教育と今の教育の違いや学びの重さの違い、「違っていていい」ではなく「違う」と言う事を障害者施設の現場から読み解く。バラバラに生きている現代どう生きていけばいいのか？私たちはどんなことをここから学ぶのか？そんな思いが詰まった作品です。

## friends after 3.11

## 3/10 脱原発アイドル 藤波心さん来場

東日本大震災が引き起こしたもうひとつの悲劇、福島第一原発事故。本作は、宮城県仙台市出身の岩井俊二監督が、震災以降に出会った人々、そして久しぶりに再会した友人と語る「日本の未来」を綴ったドキュメンタリー。

## 放射線を浴びたX年後

南海放送（愛媛県松山市）

1954年アメリカが行ったビキニ水爆実験。当時、多くの日本の漁船が同じ海で操業していた。にもかかわらず、第五福龍丸以外の「被ばく」は、消し去られていった。闇に葬られようとしていたその重大事件に光をあてたのは、高知県の港町で地道な調査を続けた教師や高校生たちだった。その足跡を丹念にたどったあるローカル局のTVマンの8年にわたる長期取材のなかで、次々に明らかになっていく船員たちの衝撃的なその後…。そして、ついにとり着いた、“機密文書”…そこには、日本にも及んだ深刻な汚染の記録があった—では約8年にわたり、これまであまり知られることのなかった「もうひとつのビキニ事件」の実態を描いてきた。地元の被災漁民に聞き取りをする高知県の調査団との出会いがきっかけだった。制作した番組は「地方の時代映像祭 グランプリ」「民間放送連盟賞 優秀賞」「早稲田ジャーナリズム大賞 大賞」など、多数受賞。2012年1月に「NNNドキュメント」（日本テレビ系列）で全国放送され反響を呼んだ『放射線を浴びたX年後』に新たな映像を加えた映画化。